

# 下小ブルーの風に乗って！

【令和5年10月20日 第21号 香芝市立下田小学校 校長室発行】



## にぎやかな秋まつりが帰ってきました！！

コロナ禍が明けて、多くの生活が元に戻りました。中には、コロナ禍を経て「新しいカタチ」に生まれ変わったものもあります。下田小学校区で行われます3つの秋まつりも、大いににぎわいました。去年は様々な制限の中で行われましたが、今年は子どもたちの笑顔があふれるまつりになりました。そして、それを喜ぶ大人の笑顔もステキでした。さらに、まつりの中には、とても歴史があることも学びました。

### 10月8日(日)逢坂の秋まつり《大坂山口神社》



### 10月14日(土)北今市の秋まつり《戎神社》



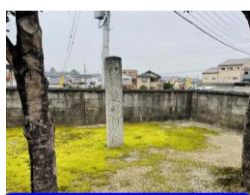
### 10月15日(日)下田地区の秋まつり《鹿島神社》



写真をご覧のとおり、どのまつりも神社とのかかわりがあります。また、歴史を感じるシーンにも出会いました。

逢坂のまつりでは、「御足袋所(おたびしょ)」に立ち寄り祈禱します。「御足袋所」は、大きな神社の近くには、よくあるものです。お伊勢参りに来る人々の中には、金子(きんず・資金)の都合でお伊勢さんまで行けない人がたくさんいました。そこで、このような人たちは、この「御足袋所」まで訪れて、お伊勢さんの方角に向かってお参りすることで、お伊勢参りをしたことになるという場所です。

下田のまつりでは、江戸時代に作られた伝説の地車(だんじり)に出逢うことができました。この日は、永年にわたり鹿島神社の山車(だし)殿に保存されていた下田地車が、60年ぶりに一般公開されました。【A】ここをよく見ると【B】、「堺彫又」と刻まれているのがわかります。【C】これは、堺の彫又という彫師が装飾したしるしです。また、ここには「嘉永七年九月吉日」と書かれています。【D】これは、嘉永7年(1854年)に製作されたということです。そうです、江戸時代に作られた地車なのです。



御足袋所



祈禱しています



A



B



C



D

## 秋みつけ by 1年生



とっても大きなクリにびっくりしました！！

そして、ススキやキンモクセイといっしょに「秋」のステキなところを感じました。

## 食欲の秋だけではありません



食欲の秋だけでなく、さまざまな視点で「食育」の啓発に関する掲示物を工夫しています。